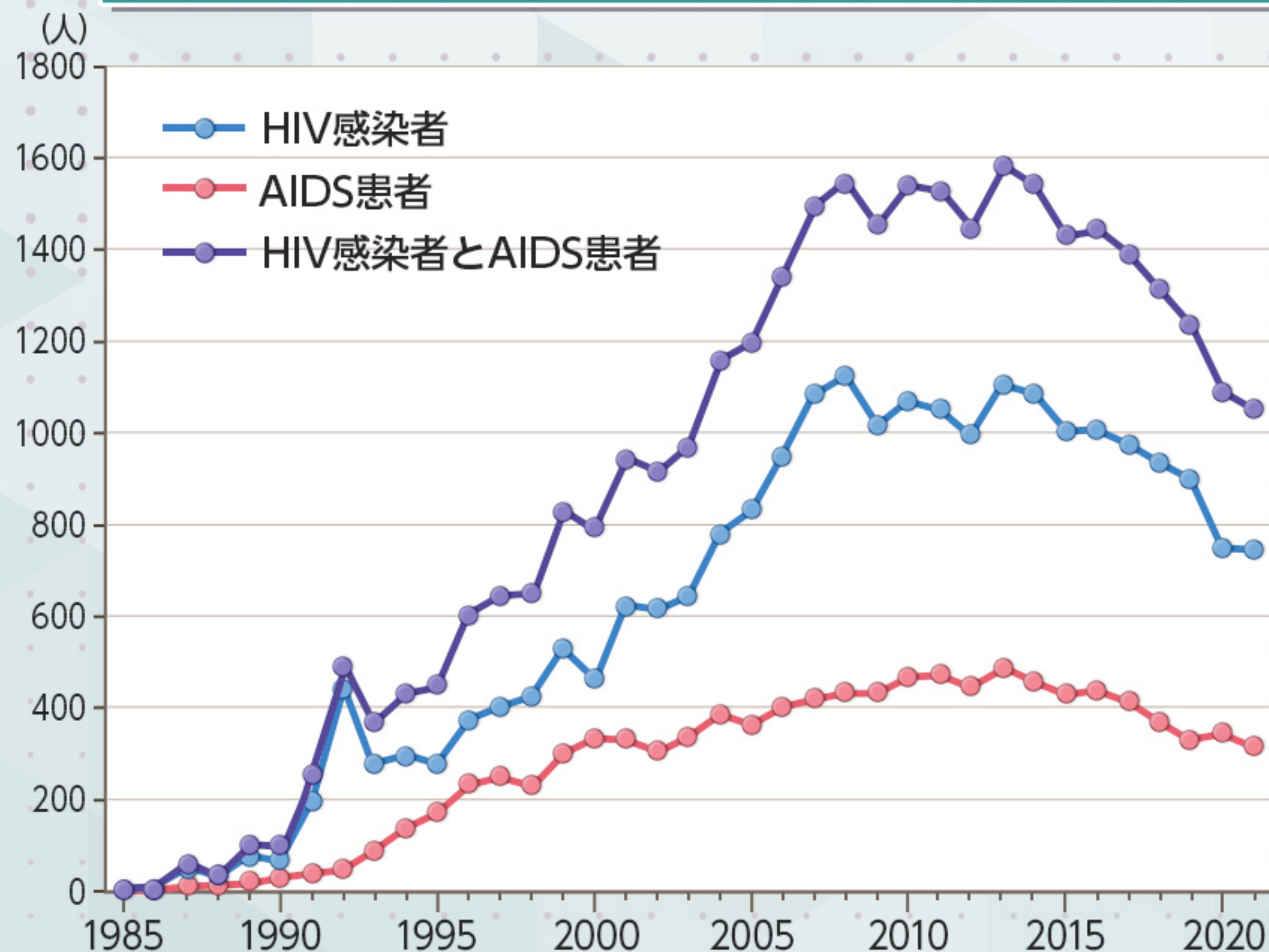
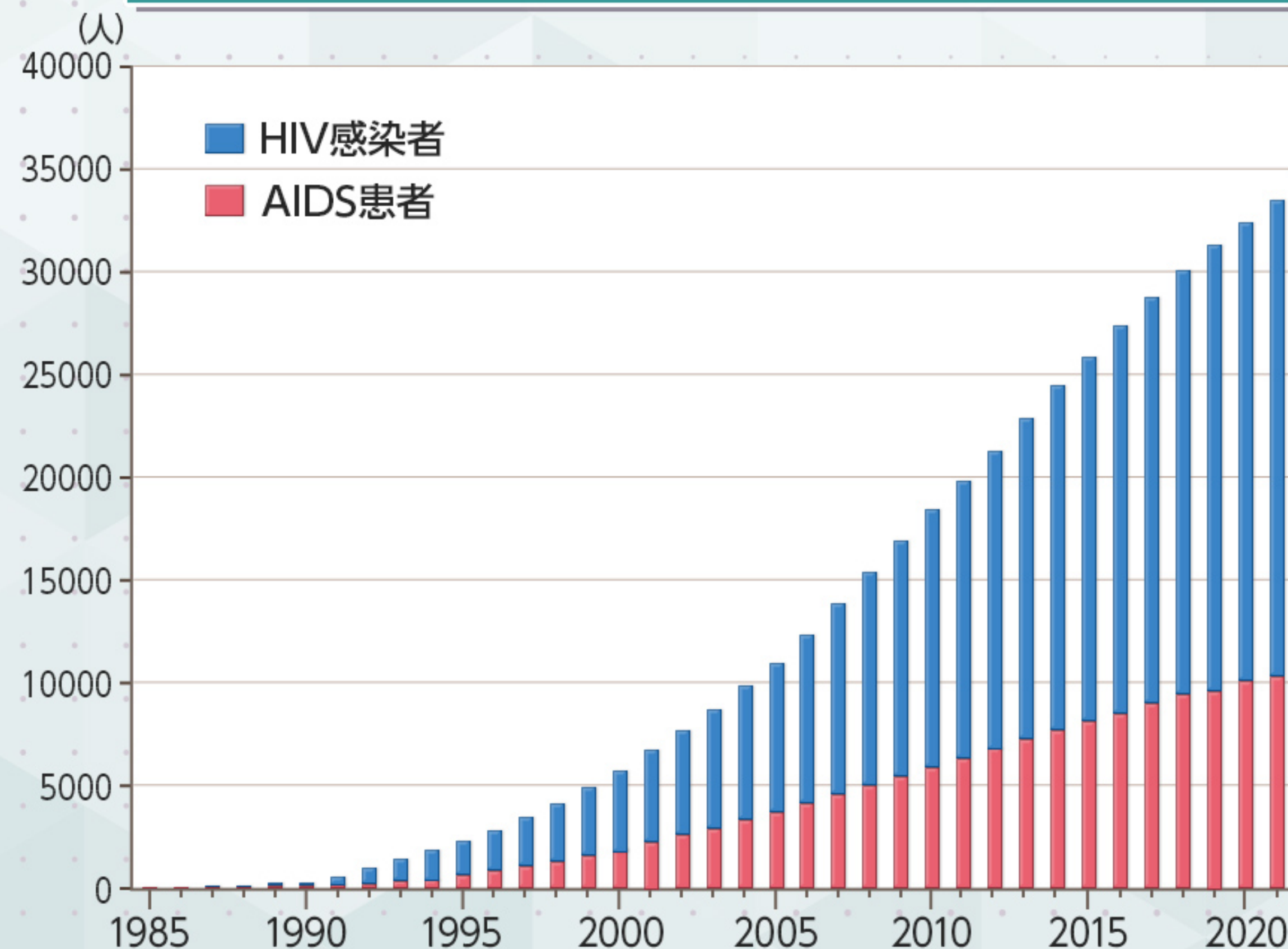


HIV感染者およびAIDS患者の 年間新規報告数の推移



各年末までの累積報告数



わが国のHIV感染者のCKD推定有病率

HIV感染者のCKD有病率は20.4%であると解釈できる。

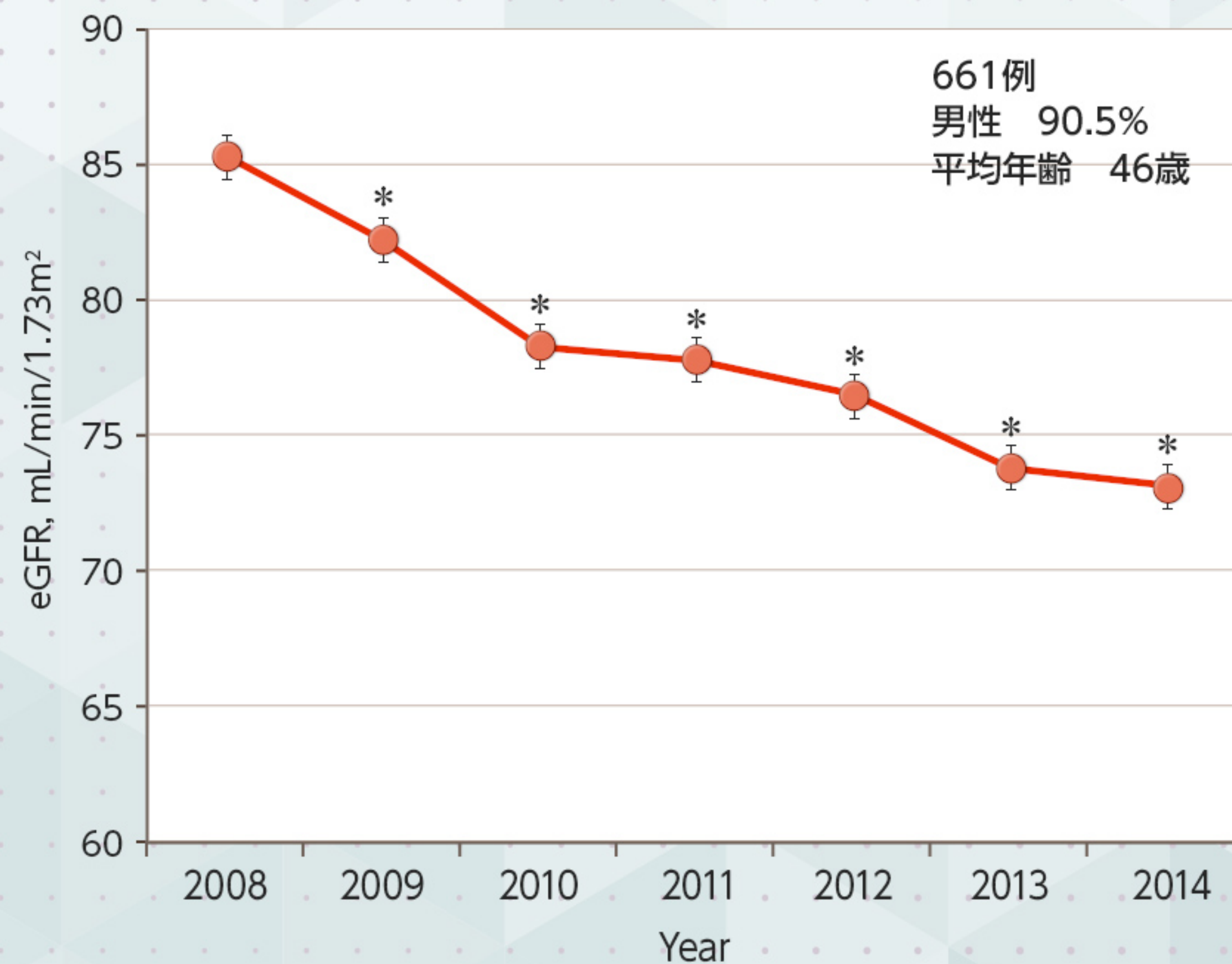
eGFR区分	アルブミン尿区分		
G1~G5 (mL/min/1.73m ²)	A1 (ACR<30mg/gCr)	A2 (ACR30~300mg/gCr)	A3 (ACR>300mg/gCr)
G1 (≥90)	529 (26.8%)	51 (2.6%)	7 (0.4%)
G2 (60~89)	1,044 (52.8%)	141 (7.1%)	14 (0.7%)
G3a (45~59)	107 (5.4%)	29 (1.5%)	12 (0.8%)
G3b (30~44)	8 (0.4%)	9 (0.5%)	6 (0.3%)
G4 (15~29)	1 (0.1%)	3 (0.2%)	7 (0.4%)
G5 (<15)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (0.4%)

1,976 例

HIV感染患者はGFR低下率が高い

2008～2014年の6年間で、eGFRは年間平均で $2.01 \text{ mL/min/1.73m}^2$ の低下が認められた。

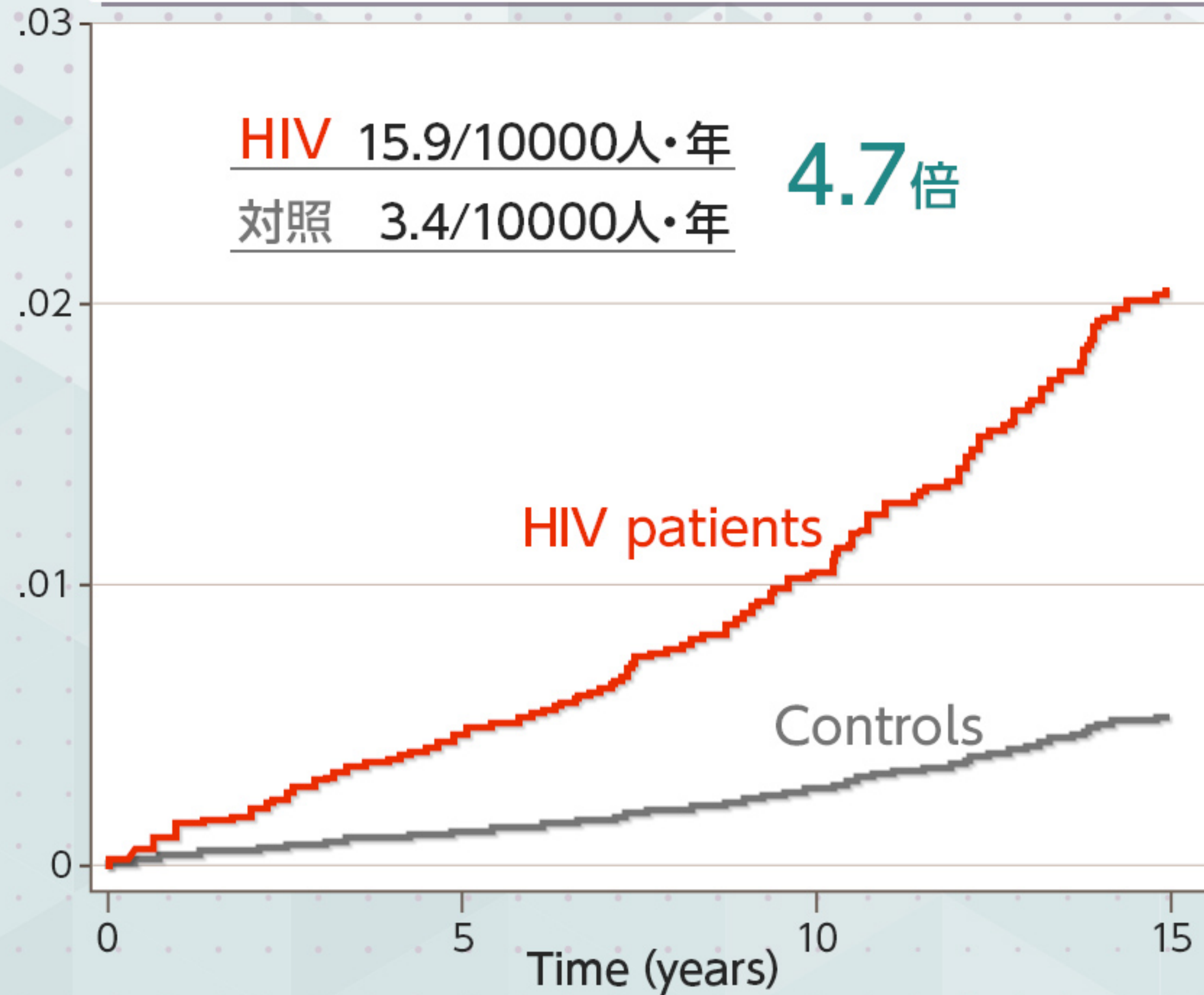
この値は同年代の40～49歳の日本人男性群の平均である $0.31 \text{ mL/min/1.73m}^2$ と比較して、約7倍高い数字である。



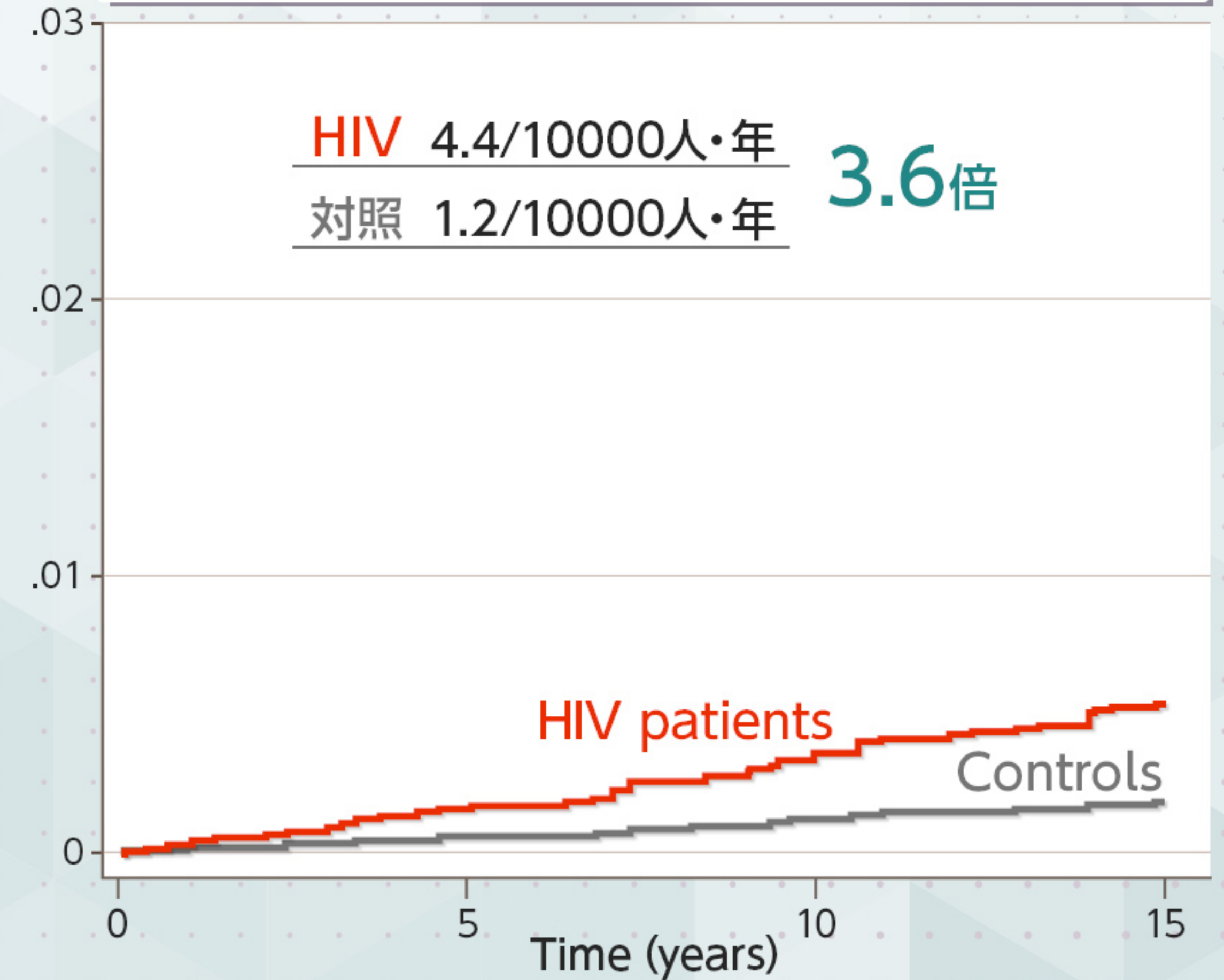
腎代替療法になる確率

デンマーク 5300 HIV 53000 対照

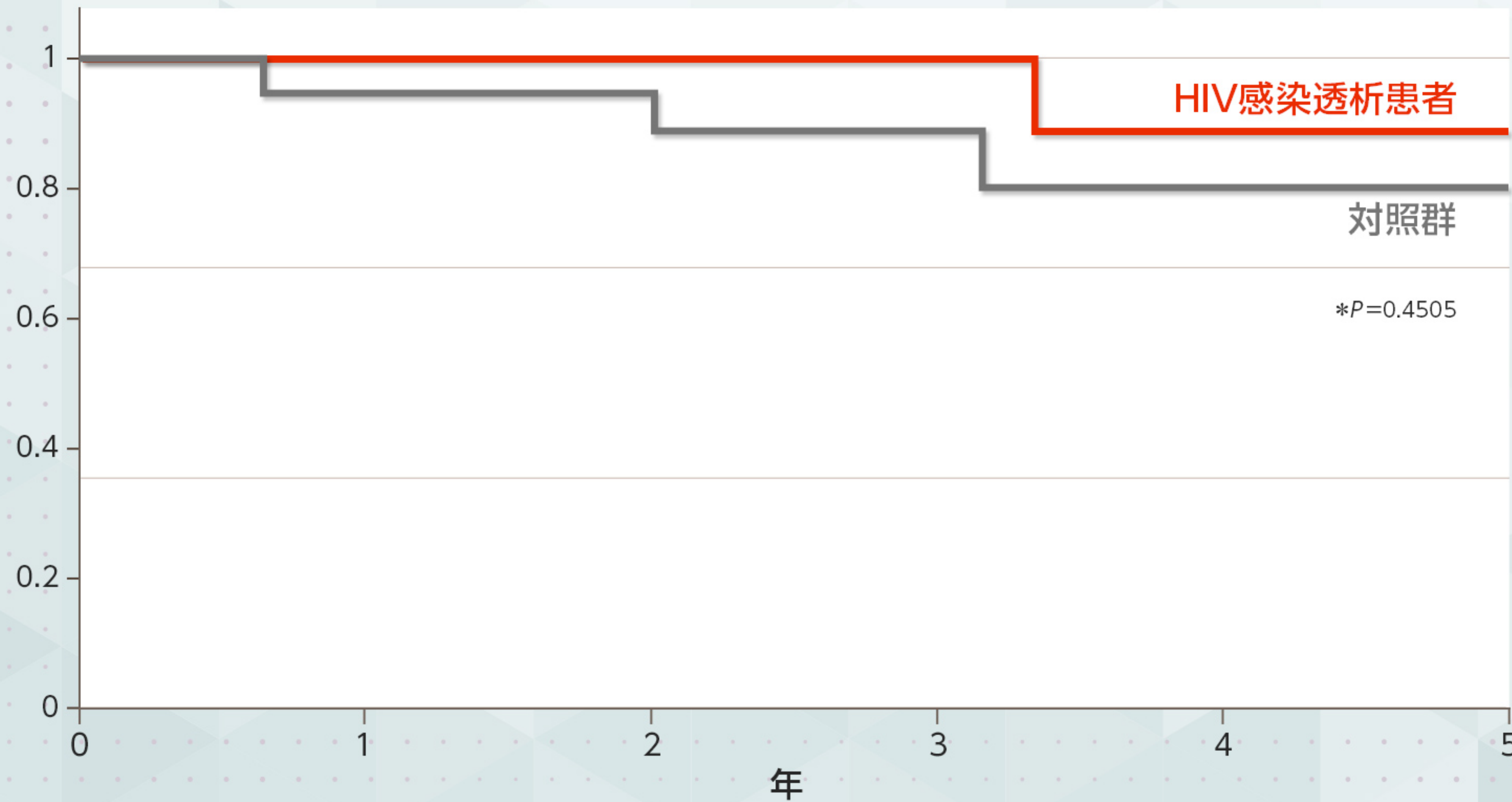
すべてのRRT



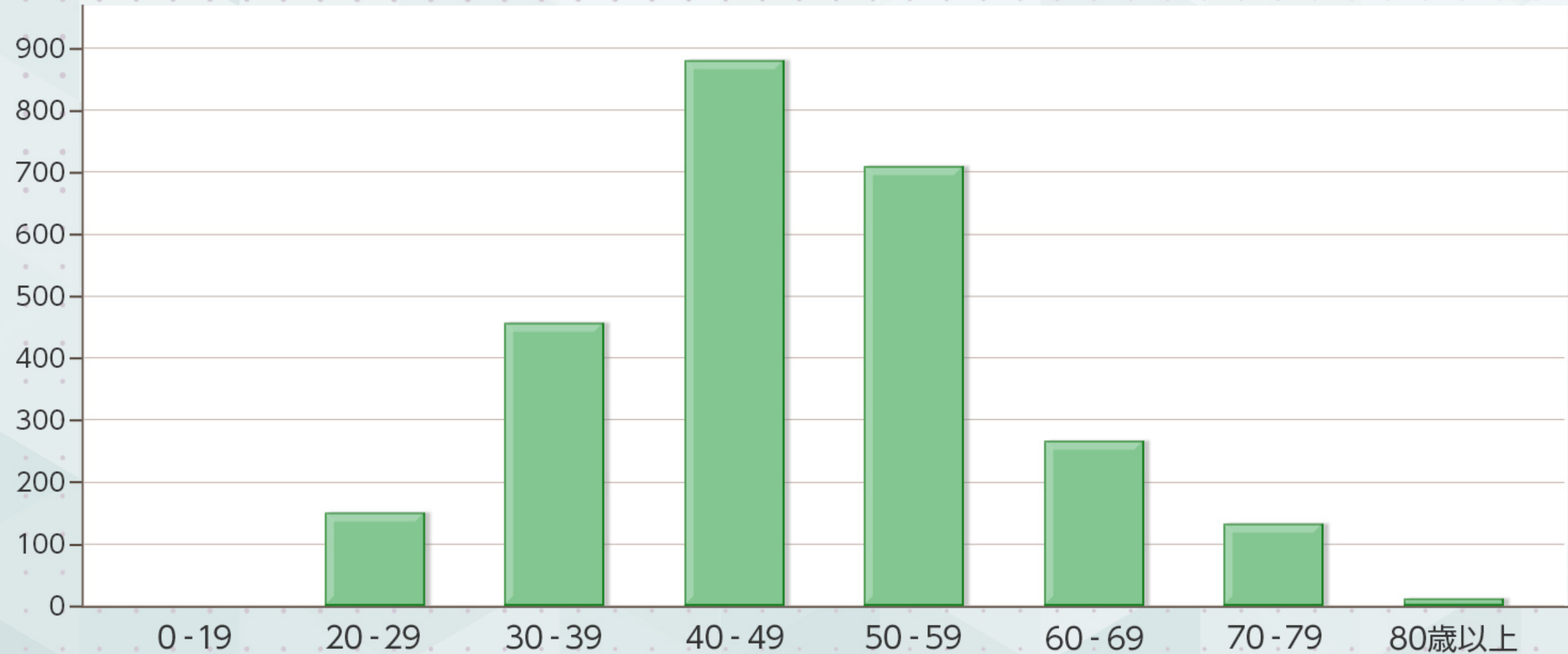
慢性透析



HIV感染透析患者の生命予後は一般の透析患者と変わらない



各種合併症を持つHIV感染高齢者が急増している (ACC data)



2020年末時点で通院患者の43.1%が50歳以上、16.0%が60歳以上
(n=2577)

抗HIV治療中の患者からの感染リスクは？

未治療の患者では血液中に1万～数十万個/mLでウイルスが存在



1万～10万分の1になる

HIVの治療に成功すると血液中に1個/mL程度までウイルスは減少している



曝露のタイプ	1回あたりの感染リスク (95%信頼区間)
針刺しによる経皮曝露	0.3% (0.2～0.5%)
粘膜への曝露	0.09% (0.006～0.5%)
健常皮膚への曝露	0% (0.0～0.11%)

(Bell DM et al. Am J Med. 1997; 102(5B): 9-15)

治療成功患者の血液による経皮感染リスクは300万～3,000万回に1回

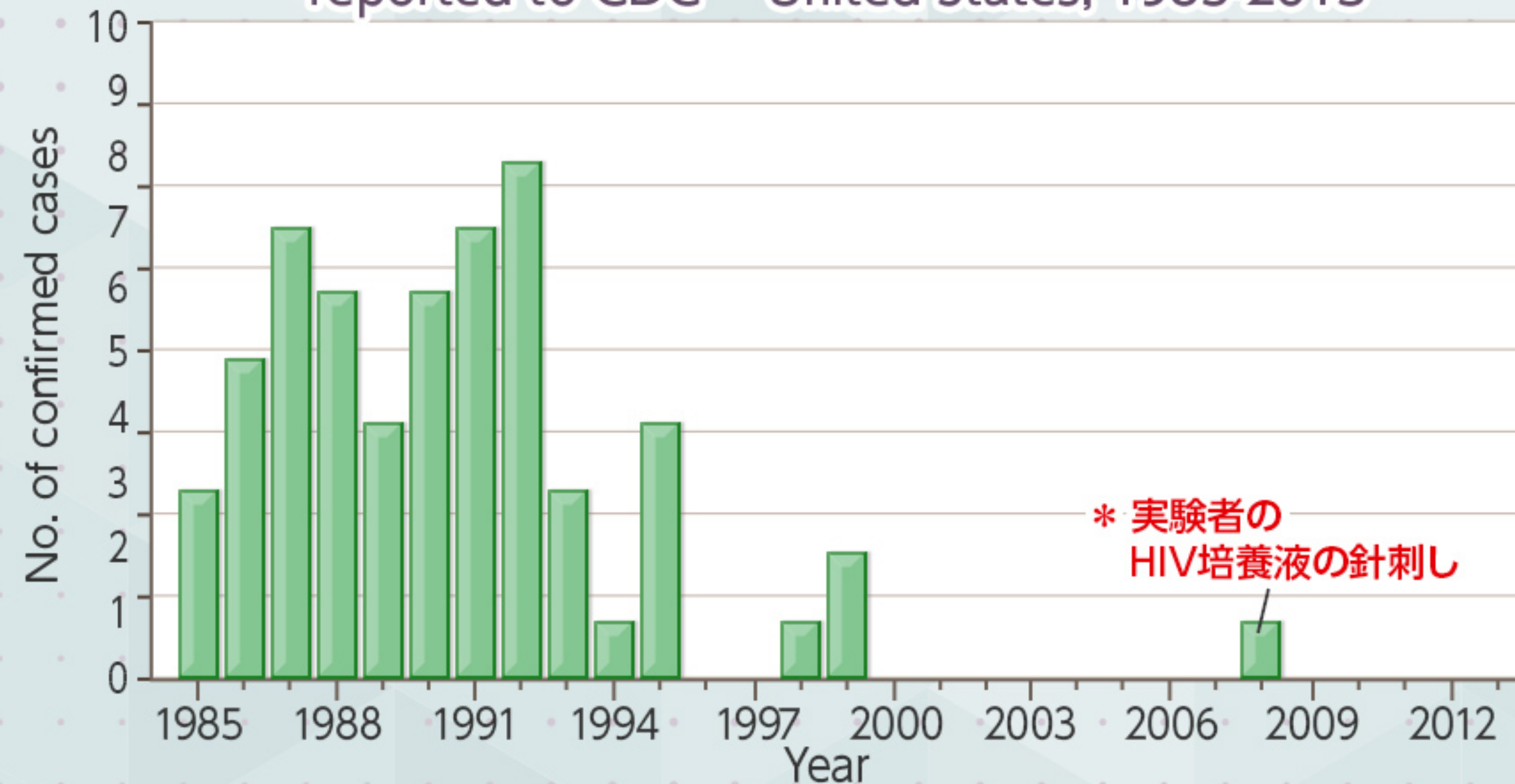
予防内服を行う事でこの確率はさらに低下している

米国：職業曝露によるHIV感染例は消失

Occupationally Acquired HIV Infection Among Health Care Workers — United States, 1985-2013

M. Patricia Joyce, MD¹, David Kuhar, MD², John T. Brooks, MD¹
(Author affiliations at end of text)

Number of confirmed cases (N = 58) of occupationally acquired HIV infection among health care workers reported to CDC — United States, 1985-2013



1987年：ユニバーサルプリコーション

1996年：HIV-PEP (曝露後予防) 開始

1981-2013年の職業曝露

可能性例 143例
確定例 58例

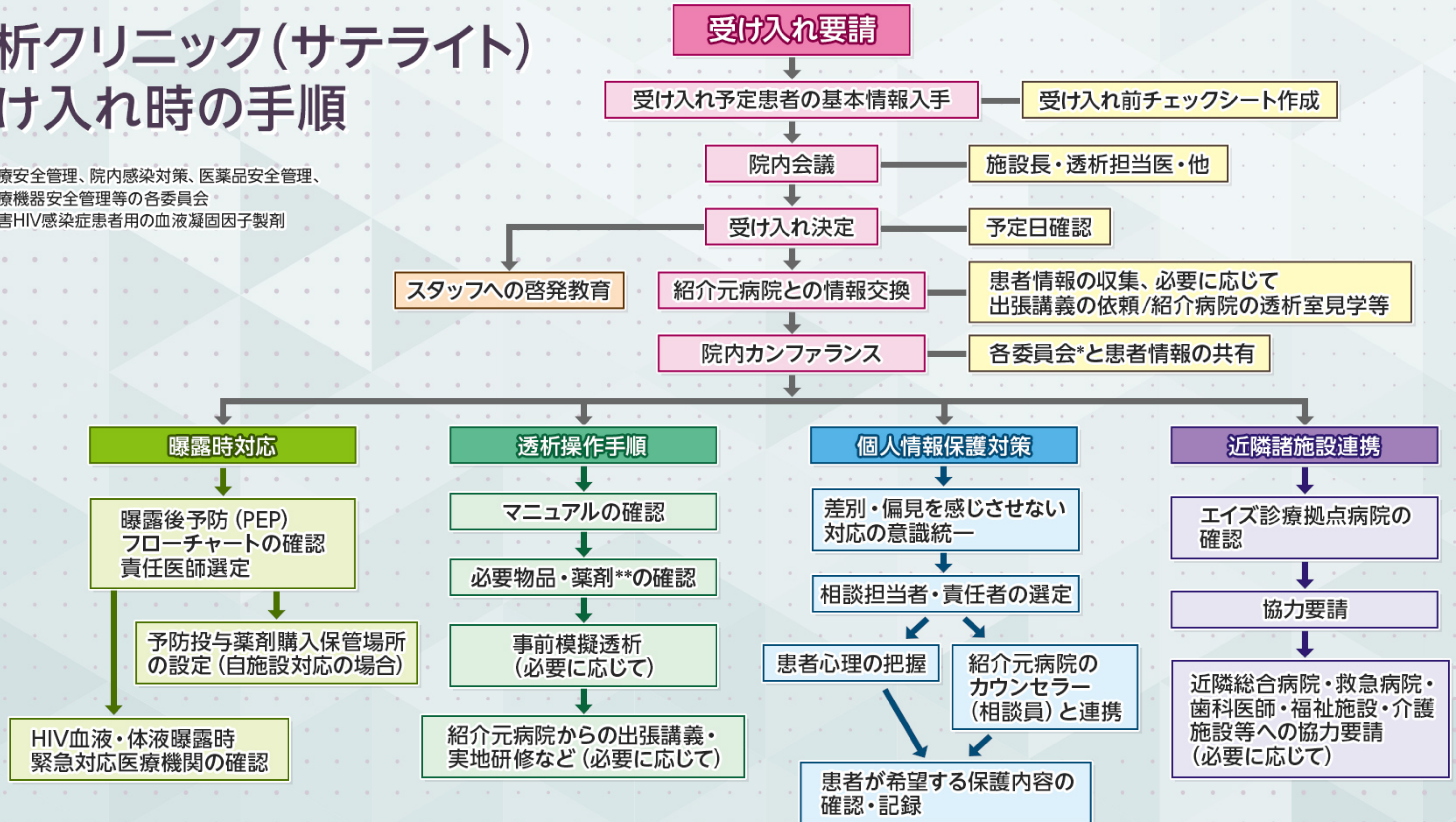
1981-1999年 57例
2000-2013年 1例*

2000年以降は20年以上も職業曝露による感染事例は報告されていない

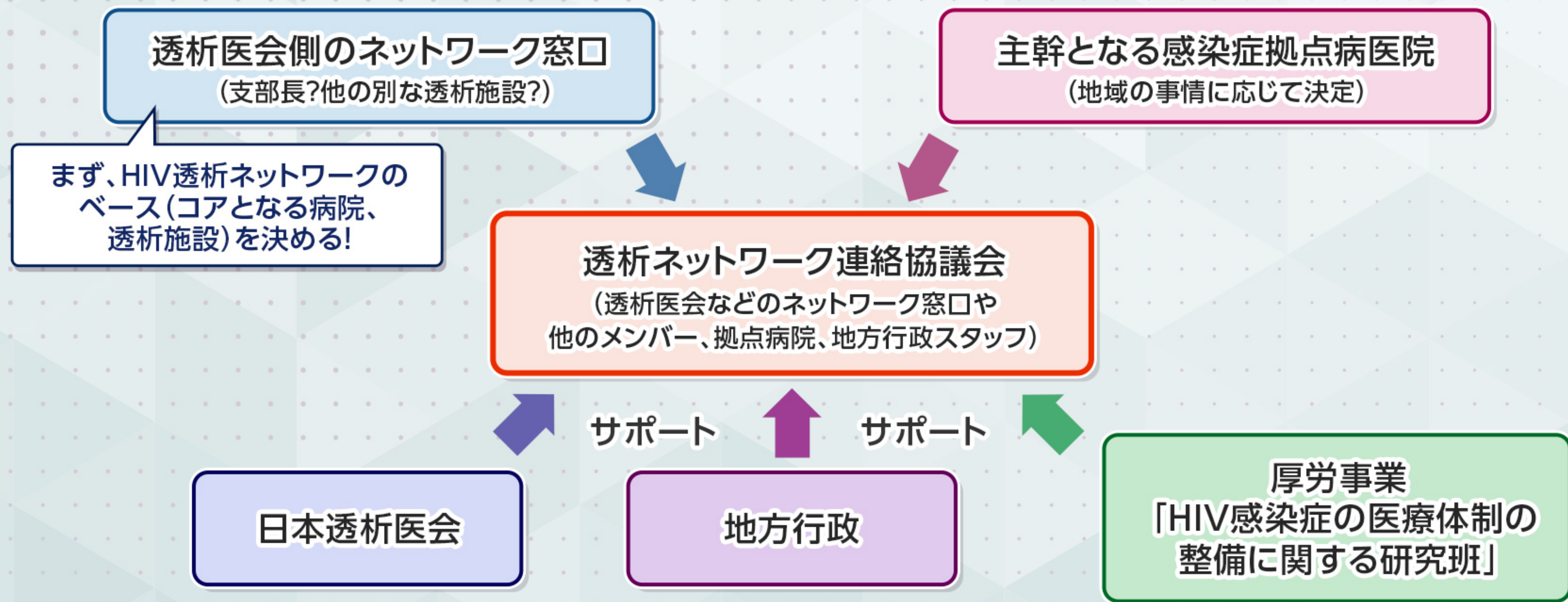
透析クリニック(サテライト) 受け入れ時の手順

*: 医療安全管理、院内感染対策、医薬品安全管理、
医療機器安全管理等の各委員会

**：薬害HIV感染症患者用の血液凝固因子製剤



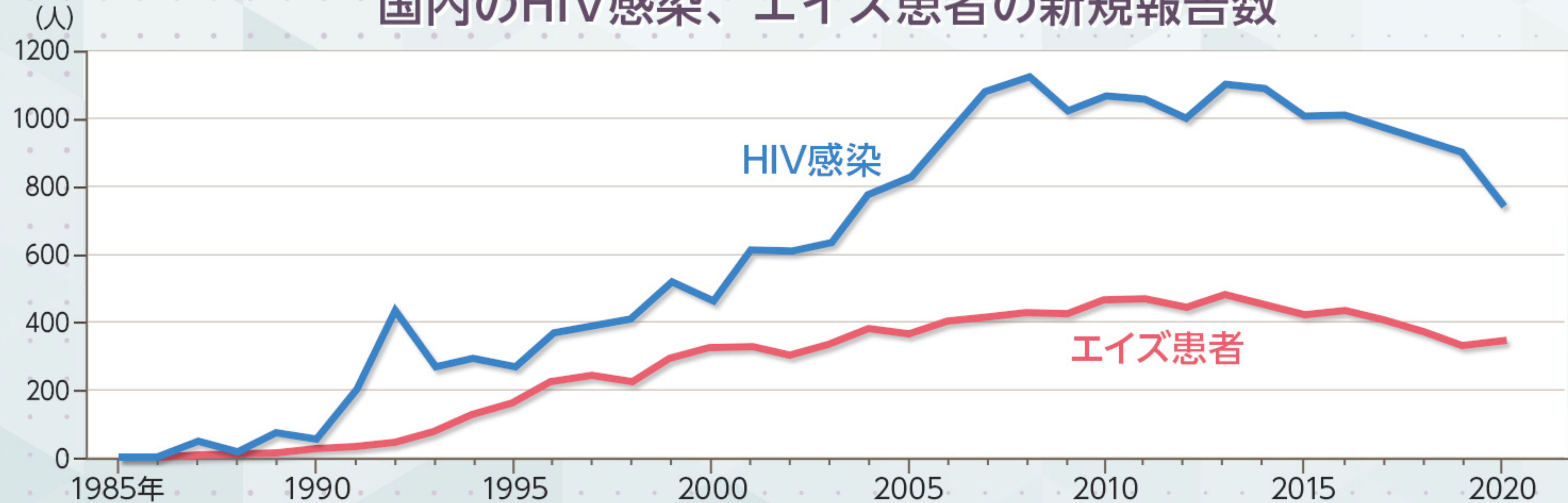
各府県における透析ネットワーク構成の基本



- 【参考】 ▶ 東京都HIV透析ネットワークプロジェクト https://tokyo-touseki-ikai.com/pdf/net_bosyu.pdf
▶ 北海道HIV透析ネットワーク <http://hok-hiv.com/for-medic/dialysis-network/>

HIV感染症の変遷 (イメージ)

国内のHIV感染、エイズ患者の新規報告数



エイズ治療の変化

1981年以降

治療法がなく、多くが死亡。
人にうつる

死の病

1990年代中ごろ以降

抗HIV療法が登場

治療で病状や予後を改善し、
感染を予防できるように

死なない病気に

- 薬をずっとのみ続けなければならない
- 副作用も

完治に期待

U=U

検出限界以下は感染しない Undetectable=Untransmittable

治療によって血液中にHIVが見つからないレベル
「検出限界以下」の状態が6か月かそれ以上だと
HIVはうつることはありません。

#UequalsU

#検出限界以下は感染しない

ハッシュタグで検索！



TOKYO
RAINBOW
PRIDE

NHS.UK "Your health, your choices" <https://www.nhs.uk/conditions/hiv-and-aids/prevention/>

特定非営利活動法人
ふれいす東京のサイトより引用